



日汉对照
有声版

日本 民间故事大全

晨读夜诵 / 每天读一点

张正军 蒋青 编著

人气物语 报恩物语

恋爱物语 机智物语

异类婚姻 河童物语

恐怖物语 动物物语



华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

晨读夜诵: 日汉对照有声版. 每天读一点日本民间故事大全 / 张正军, 蒋青编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2018.1

ISBN 978-7-5628-5279-7

I. ①晨… II. ①张…②蒋… III. ①日语-阅读教学-自学

参考资料 IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2017)第287586号

策划编辑 / 嵇 蕾

责任编辑 / 嵇 蕾

装帧设计 / 王 翔

出版发行 / 华东理工大学出版社有限公司

地址: 上海市梅陇路130号, 200237

电话: 021-64250306

网址: www.ecustpress.cn

邮箱: zongbianban@ecustpress.cn

印 刷 / 常熟市华顺印刷有限公司

开 本 / 787mm × 1092mm 1/32

印 张 / 8.5

字 数 / 284千字

版 次 / 2018年1月第1版

印 次 / 2018年1月第1次

定 价 / 34.80元

版权所有 侵权必究

前言

本书选编了日本具有代表性的民间故事、寓言、笑话等，旨在使读者阅读经典故事的同时，提高日语水平，理解日本独特的风俗习惯、日本人的美学观念和是非观。

本书收录的古老话（“昔话”）是由日本劳动人民集体创造的、口头传承的叙事体故事，篇幅简短；“物语”一般是以一定的韵律吟诵、以某个人物为主人公的长篇故事，例如《竹取物语》。

在古代日本，学校教育并不普及，民间故事是老人在晚上给孩子们讲述的故事，具有教育性，属于口传文学作品。所以，日本的民间故事往往是适合于儿童理解的动物报恩故事、劝善惩恶故事、以小博大故事、机智聪明的故事等。本书还对主题进行分类，收录了动物报恩故事、异类婚姻故事、穷人变财主的故事等。此外，本书还收录了日本著名的妖怪、幽灵、鬼神、阴阳师的故事以及寓言、笑话、事物的由来等故事。

一些日本的民间故事讲述了古代日本人民悲惨的生活境遇，他们以奇异的幻想讲述了对美好生活的憧憬。善良的穷人虽然一贫如洗、朝不保夕，但通过做善事获得了回报，变为富翁，娶到贤妻，而贪婪的财主却家道破落。如《让枯树开花的老爷爷》故事，既有劝善惩恶的思想，也反映了穷苦的劳动人民希望改变生活境遇的理想。民间故事对不同人物的对照，体现了古代日本人的伦理道德和思想品格。

他界是民间故事和神话中设定的异境，它可能是高天原、龙宫、月宫的神境，也可能是黄泉国、根国、山上等幽灵的栖息地，还可能是鬼岛。那里居住着神仙、幽灵、妖怪、恶鬼等，他界的主人会来访人间，人间英雄或善良的男子也会越过境界线，在他界战胜恶鬼，获取珠宝，或者完成异类婚姻。境界学说是解析日本民间故事的切





入点之一。

正如《聊斋志异》记录的异类婚姻，日本民间故事中也有很多蛇郎、蛇妻、龙女、仙女故事。善良而单身的小伙子，往往能娶到异类的女子，如《蛤蜊夫人》《来自龙宫的新娘》《仙女夫人》；善良的老夫妻能得到勤劳美丽的异类女儿，如《仙鹤报恩》《竹取物语》等。好奇心是人性的弱点，民间故事中往往因人不遵守“禁止窥看”的约定，看到了伴侣或女儿的原形而导致姻缘、纽带的断裂。异类婚姻的结局往往是悲剧性的，它反映了人和异类的神仙、动物不能结合的观念。其中，《仙女夫人》是羽衣型故事，明显受到中国七夕故事的影响。

在结构上，多数民间故事属于单纯型故事，多在简短的篇幅中讲述一个单一的故事，具有趣味性，便于记忆和流传。民间故事在流传过程中，在各地会产生各种版本，会附加上别的主题。例如，《浦岛太郎》兼具他界访问故事、异类婚姻故事、动物报恩故事的特征；《竹取物语》既包含了羽衣故事，也包含了异类婚姻故事、难题求婚故事、事物由来故事的特征。这些属于复合型故事。

总之，日本民间故事朴素地表达了日本人的思想和艺术。本书是上海市重点课程“日本概况”的建设内容之一，有单元导读、译文赏析、语法难点和单元小知识。全书提供日汉对照，日语全文标注假名注音，并提供由日籍专家朗读的日文音频，便于读者进行跟读，适合初级及以上日语水平的读者，也可以作为“日本概况”“日本文学”课程的辅助读物。

由于编著者的水平有限，本书的欠缺在所难免，望同仁、读者批评指正。

编者

2017年12月

目 录

第一章 にん き ものがたり 人气物語 / 人气故事

单元导读 / 001

きん たろう
金太郎 / 金太郎 / 002

もも たろう
桃太郎 / 桃太郎 / 005

うらしま たろう
浦島太郎 / 浦島太郎 / 008

うばすてやま
姥捨山 / 弃姥山 / 011

小知识：弃姥故事 / 016

第二章 い りいこん むかしばなし 異類婚の昔話 / 异类婚姻故事

单元导读 / 017

はまぐりにようぼう
蛤女房 / 蛤蜊夫人 / 018

よめい
ねずみの嫁入り / 老鼠嫁女儿 / 021

りゅうぐうにようぼう
竜宮女房 / 来自龙宫的新娘 / 024

てんにんにようぼう
天人女房 / 仙女夫人 / 028

小知识：羽衣传说 / 031





第三章 こい はなし 恋の話 / 恋爱故事

单元导读 / 033

えすがたにようぼう
绘姿女房 / 肖像夫人 / 034

へびにようぼう
蛇女房 / 蛇妻 / 037

あんちんきよひめ
安珍清姬 / 安珍与清姬 / 041

たけとりものがたり
竹取物語 / 竹取物语 / 044

小知识：富士山 / 049

第四章 どうぶつ おんがえ むかし はなし 動物の恩返しの昔話 / 动物报恩故事

单元导读 / 051

かえる おんがえ
蛙の恩返し / 青蛙报恩 / 052

ねこ おんがえ
猫の恩返し / 猫的报恩 / 056

はくちょう せき
白鳥の関 / 天鹅之关 / 059

つる おんがえ
鶴の恩返し / 仙鹤报恩 / 063

小知识：古老话 / 066

第五章 ちやうじゃ はなし 長者の話 / 财主的故事

单元导读 / 067

ちやうじゃ
わらしべ長者 / 稻草财主 / 068

ぶんぶくちやがま
文福茶釜 / 文福茶壶 / 072

おおとし きやく
大歳の客 / 大岁之客 / 076

すみやき こごろう
炭烧小五郎 / 烧炭小五郎 / 079

小知识：烧炭长者 / 085

第六章 こわ はなし 怖い話 / 恐怖的故事

单元导读 / 087

みみな ほういち
耳無し芳一 / 无耳芳一 / 088

きし ぼじん
鬼子母神さま / 鬼子母神 / 092

ゆきおんな
雪女 / 雪女 / 096

ひとく ばばあ あたま
人食い婆とおつなの頭 / 食人婆与阿纲的头 / 101

小知识：菖蒲 / 106

第七章 ものごと ゆらいばなし 物事の由来話 / 事物的由来故事

单元导读 / 107

じゅうにし ゆらい
十二支の由来 / 十二地支的由来 / 108

おにうちぎ ゆらい
鬼打木の由来 / 鬼打木的由来 / 111

さる しり あか
猿の尻はなぜ赤い / 猴子屁股红的由来 / 114

へびむこい
蛇婿入り / 蛇郎走婚 / 117

小知识：蛇郎蛇妻故事 / 122

第八章 よくぼ はなし 欲張りの話 / 贪婪的故事

单元导读 / 123

てん のぼ かめ
天に昇る亀 / 升天的乌龟 / 124

はなさか
花咲じいさん / 让枯树开花的老爷爷 / 127

わかがえ みず
若返りの水 / 返老还童水 / 130

てんぐ かく みの
天狗の隠れ蓑 / 天狗的隐身蓑衣 / 133

小知识：天狗 / 139





第九章 くわ 寓話 / 寓言故事

单元导读 / 141

かえる こ かえる
蛙の子は蛙 / 有其父必有其子 / 142

いのしし つき
猪と月 / 野猪和月神 / 145

かたはねせん り
片羽千里 / 单翅千里 / 148

さる ちゅうさい
猿の仲裁 / 猴子的仲裁 / 151

小知识: 相扑 / 154

第十章 ばなし おどけ話 / 笑话

单元导读 / 155

きちご
吉五ばなし / 吉五的故事 / 156

うま
馬をかつぐ / 扛马 / 159

たのきゅう / 田之久 / 162

といた
戸板かつぎ / 背门板 / 165

小知识: 落语 / 168

第十一章 ばなし とんち話 / 机智的故事

单元导读 / 169

うなぎのかぎ賃 ちん / 闻鳗鱼味的钱 / 170

はきだせ蛙 かえる / 吃牛的青蛙 / 173

きつちよむ ねこ
吉四六と猫 / 吉四六和猫 / 176

くったくった / 吃了吃了 / 180

小知识: 老和尚和小和尚 / 184

第十二章 おに はなし 鬼の話 / 鬼的故事

单元导读 / 185

おに
鬼のつめ / 鬼的指甲 / 186

な あかおに
泣いた赤鬼 / 哭泣的红鬼 / 188

せつぶん ふくおに
節分の福鬼 / 招鬼迎福 / 191

ら しょうもん おに
羅生門の鬼 / 罗生门的鬼 / 195

小知识：罗生门 / 202

第十三章 ゆう れい はなし 幽霊の話 / 幽灵的故事

单元导读 / 203

さ きちぶね
佐吉舟 / 佐吉船 / 204

ゆう れい せん
幽霊船 / 幽灵船 / 208

ゆう れい て がみ
幽霊の手紙 / 幽灵的信 / 212

こ そだ ゆう れい
子育て幽霊 / 育婴幽灵 / 216

小知识：幽灵 / 220

第十四章 かっぱ はなし 河童の話 / 河童的故事

单元导读 / 221

かっぱ
河童とひょうたん / 河童和葫芦 / 222

いち うえもん かっぱ
市右衛門と河童 / 市右卫门和河童 / 225

かっぱ いわ
河童岩 / 河童岩 / 228

ひこ ざ かっぱ
彦左と河童 / 彦左和河童 / 232

小知识：芥川龙之介和河童 / 236





第十五章 おんみょうし はなし 陰陽師の話 / 阴阳师的故事

单元导读 / 237

か ものただゆき みち こ やすのり つた
贺茂忠行、道を子保憲に伝える / 子承父业 / 238

せいめい ひやつき やこう
晴明と百鬼夜行 / 晴明和百鬼夜行 / 241

せいめい ため そう
晴明を試す僧 / 甘拜下风 / 245

あべのせいめいくろうどししょう ふう こと
安倍晴明蔵人少将を封ずる事 / 晴明和少将 / 250

小知识：阴阳师 / 255

后记 / 256



扫一扫，听音频

第一章 にんきものがたり 人气物語

人气故事

单元导读

日本的民间故事有典型的异乡访问主题，例如，本章收录的金太郎去悬崖的对面捡栗子的故事，桃太郎去鬼岛的故事等，浦岛太郎访问龙宫的故事。异乡是人类憧憬的世界。“金太郎”中所说的异乡有栗子。异乡也可能是鬼界，人只要能打败鬼，也可获得珠宝、万能的槌子等。“浦岛太郎”中说的龙宫像天国，那里应有尽有，可让浦岛太郎忘了时间，青春永驻。“弃姥山”是讲要赡养老人的故事，但日本人认为山是他界，是祖先灵魂的栖息地。



きんたろう 金太郎

むかし あしがらやま やまおく いえ きんたろう ははおや く
昔、足柄山¹の山奥の家に金太郎と母親が暮らしていました。

きんたろう ある はじ ははおや きんたろう はらが つく
金太郎が歩き始めると、母親は金太郎に腹掛けを作りましたが、
はらが
腹掛けはブカブカでした。でも、それは金太郎が早く大きくな
るようという願いが込められていたのです。山奥で暮らす金
たろう あそ なかま どうぶつ きんたろう まいにちやま どうぶつ
太郎の遊び仲間は動物たちでした。金太郎は、毎日山の動物た
ちを集めて、相撲を取って、猪も投げ飛ばされました。元気
どうぶつ あそ きんたろう おお
に動物たちと遊んでいるうちに金太郎はどんどん大きくなり、
はらが
腹掛けもピッタリになっていました。

やさ ちから も きんたろう どうぶつ にんきもの かれ
優しくて力持ちの金太郎は動物たちの人気者でした。彼は
かあ つく てもらった おい りょうり みんなにも わ
お母さんに作ってもらった美味しい料理をみんなにも分けて
あげました。きんたろう どうぶつ つれて やま なか ある
金太郎はいつも動物たちを連れて、山の中を歩き
まわ き のぼ めいじん さる き のぼ かた おし
回りました。木登り名人の猿には木の登り方を教えてもらって、
あし はや しか やまみち はし かた おし
足の速い鹿には山道の走り方を教えてもらいました。

やま おい た ものと きんたろう と
山では美味しい食べ物がたくさん取れました。キノコ採りは
しか きつね てつだ やまいも ほ さる うさぎ てつだ
鹿と狐が手伝って、山芋掘りは猿と兎が手伝いました。ある
とし あき どうぶつ きんたろう き くりひろ い
年の秋、動物たちが金太郎のところに来て、栗拾いに行かない
かと誘いました。きんたろう よろこ どうぶつ くりひろ で
金太郎は喜んで動物たちと栗拾いに出かけ
ましたが、がけ がかかっていた はし がなくなっていました。どうぶつ
ちが 困っていると、きんたろう ちか おお き ちからいっぱい
金太郎は近くにあった大きな木を力一杯

1 位于神奈川県与静岡县的交界处，因作为金太郎的诞生地而闻名。

お たお はし
押し倒し、橋をかけてあげました。

きん たろう はし わた む がわ くり き
金太郎たちが橋を渡った向こう側には栗の木がありました。
みんな む ちゅう くりひろ
皆が夢中で栗拾いをしていましたが、茂みの方から大きな熊
とつげんあらわ きん たろう こわ くま
が突然現れました。金太郎は怖がることなく熊とがっぷり組
あ きん たろう やま いちばんつよ くま も あ か
み合いました。金太郎は山で一番強い熊を持ち上げ勝ちました。
くま こうさん きん たろう ほか どうぶつ なかよ
熊は降参して、金太郎と他の動物たちと仲良くなりました。

みなものよりみつ ねん ねん
源 頼光¹(948年—1021年)がそこを通り掛かり、熊にも
か きん たろう たたか み きん たろう じぶん けらい
勝った金太郎の戦いを見て、金太郎を自分の家来にしました。
きん たろう さかたのきんとき な あらた みなものよりみつしてんのう
この金太郎はのちに坂田金時²と名を改め、源 頼光四天王の
ひとり かぞ りっぱ ぶし
一人に数えられる立派な武士になったのです。これは坂田金時
こどもじだい ものがたり
の子供時代の物語です。

译文赏析

金太郎

很久以前，足柄山中深处，住着金太郎与他的母亲。金太郎刚开始蹒跚学步时，母亲给金太郎做了一个肚兜，这个肚兜很肥大，不过，它包含着母亲希望金太郎早日长大的愿望。住在山中的金太郎的玩伴都是动物。金太郎每天召集山里的动物们摔跤，野猪都曾被她扔出去。他精力充沛地和动物们玩耍，很快金太郎就长大了，肚兜也变得正合身了。

1 平安时代武将，因讨伐大江山（今京都府大枝山）的恶鬼酒吞童子和妖怪土蜘蛛等传说而闻名。

2 生卒年不详。平安后期的武士，幼名金太郎，后他的形象被用于做男孩节（5月5日）时陈列的偶人。





温柔体贴又力大无穷的金太郎很受动物们的喜欢，他把母亲做的美味佳肴分享给大家。金太郎经常带着动物们在山里行走，向爬树高手猴子请教爬树的方法，向跑步神速的鹿请教在山路上奔跑的方法。

山上可以采集到很多美味的食材，鹿和狐帮他找蘑菇，猴子和兔子帮他挖山药。有一年秋天，动物们来到金太郎家，邀请他一起去拾栗子。金太郎兴高采烈地与动物们出去拾栗子，但原本架在悬崖上的桥梁不见了，动物们不知如何是好，金太郎用力撞倒了身边的一棵大树，给大家架好了桥梁。

金太郎和动物们走过了桥，在桥的那一头有栗子树。大家专心致志地在捡栗子，突然，一只大狗熊从茂密的树林里钻了出来。金太郎毫不畏惧地与狗熊扭打在一起。他把这只山中最强大的狗熊一把举起，取得了胜利。狗熊投降了，与金太郎、其他动物和睦相处。

源赖光(948—1021年)正好路过那里，看到了金太郎战胜熊的情景，把他收为自己的家臣。金太郎后来把名字改为坂田金时，成为源赖光的四天王之一，是一名了不起的武士。这就是坂田金时童年时期的故事。



语法难点

～ことなく

接续：前接动词原形。

意义：“不做……，而做……”。与“～ことなしに”可以互换使用。

例句：お二人はふたりいつまでもか変わるしあわことなくお幸しあわせにと祝しゆく福ふくした。/ 祝两位永远幸福。

もも た ろ う
桃 太 郎

昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんが川へ洗濯に行きました。ある日、おばあさんが川で洗濯をしていると、ドンブラコ、ドンブラコと大きな桃が流れてきました。おばあさんはその大きな桃を拾い上げて、家に持ち帰って、それを食べようと桃を切ってみたら、なんと中から元気の良い男の赤ちゃんが飛び出してきました。

子どものいなかったおじいさんとおばあさんは、「これはきつと、神さまがくださったにちがいない」と思って、大喜びで、桃から生まれた男の子を桃太郎と名付けました。桃太郎はスクスク¹育て、やがて強い男の子になりました。

そしてある日、桃太郎はおばあさんにきび団子を作ってもらって、鬼ヶ島²へ邪鬼を退治に出かけました。旅の途中で、桃太郎は犬に会いました。

「桃太郎さん、どこへ行くんですか？」

「鬼ヶ島へ、鬼退治に行くんだ」

「それでは、お腰に付けたきび団子を一つ下さいな。おともしますよ」

1 すくすく：副词。“茁壮成长”“长得很快”。

2 “鬼ヶ島”中的“ヶ”读“が”，是“箇”的半个竹字头的简写，在古日语中，两个名词间的“が”作定语用。





犬はきび団子いぬ だんごをもらって、桃太郎ももたろうのおともになりました。そして、今度は猿こんど さる、雉きじに出会いました。犬と同じようにきび団子だんごを一つあげて、仲間ひとにしてもらいました。一行は鬼ヶ島いっこう おに しまへやってきました。

鬼ヶ島おに しまでは、鬼たちが近くおに ちかの村むらから盗んだぬす宝物たからものやご馳走ちそうを並べて、酒盛りさかもの真っ最中ま さいちゆうでした。犬は鬼のお尻いぬ おにに噛み付き、猿は鬼の背中さる おに せ なかをひっかけ、雉は嘴きじ くちばしで鬼の目おに めをつつきました。そして桃太郎ももたろうも刀かたなをふり回して大暴れまわ おおあばでした。

とうとう鬼おにの親分おやぶんが手てをついて謝あやまりました。桃太郎ももたろうたちは、鬼おにから取り上げたと あ宝物たからものを車くるまに積つんで、家いえに帰かえりました。おじいさんとおばあさんは、桃太郎ももたろうの無事ぶ じな姿すがたを見て大喜み おおよろこびでした。そして三人さんにんは、宝物たからもののおかげで幸しあわせに暮くらしました。

译文赏析

桃太郎

很久很久以前，有个地方住着一位老爷爷和一位老奶奶。老爷爷上山砍柴，老奶奶去河里洗衣服。有一天，老奶奶在河里洗衣服时，一个大桃子一沉一浮地漂流下来。老奶奶把那个大桃子捡回了家，想把它切开吃掉，这时里面竟然蹦出一个健康可爱的男婴。

老爷爷和老奶奶膝下无子，认为“这一定是神仙所赐”，高兴极了，就给这个从桃子里出生的男孩取名为桃太郎。桃太郎茁壮成长，不久就长成了个强壮的男孩。

有一天，桃太郎请老奶奶做了黍米饭团，去鬼岛讨伐恶鬼。桃

太郎在途中碰见了一只狗。

“桃太郎，你要去哪里啊？”

“去鬼岛驱鬼。”

“那么，把你腰上的黍米饭团给我一个，我陪你去。”

狗要到了黍米饭团，当了桃太郎的伙伴。而且，桃太郎又碰见了猴子和雉鸡。跟狗一样，桃太郎分别给了一个黍米饭团，收他们为同伴，一行人去了鬼岛。

在鬼岛上，恶鬼们正在展示从附近的村里盗来的财宝，大摆宴席，喝酒庆贺。这时，狗咬住了鬼的屁股，猴挠鬼的背部，雉鸡啄鬼的眼睛，桃太郎挥舞着大刀，奋勇杀敌。

鬼的首领终于跪地求饶。桃太郎他们把从鬼那里缴获的财宝装上车，回家了。老爷爷和老奶奶看到桃太郎平安地回来，非常高兴。三人因有宝物，过上了幸福的生活。



语法难点

～おかげで

接续：前接活用词的连体形、“名词+の”。

意义：表示因他人的帮助或其他某种有利因素而得到好的结果，带有感谢的语感。“多亏……”“托……的福”。

例句：みなさま きょうりよく ほんじつ について ぶ じ しゅうりよう
皆様のご協力のおかげで、本日の日程が無事に終了
いた
致しました。/多亏大家的协助，今天的日程顺利地结束了。

